

「第6次環境取り組みプラン」の活動と結果

持続可能な社会の実現に向けて「低炭素社会の構築」「循環型社会の構築」「環境保全と自然共生社会の構築」「環境マネジメント」の4本柱で取り組んでいます。

テーマ	実施事項	2017年度の活動結果																													
低炭素社会の構築	① CO₂排出量の低減 【製品】 ・車両の燃費性能向上に繋がるゴム・樹脂部品の軽量化設計・開発及び車載 LED 製品の開発 ・新エネルギー動向に対応した新領域製品や技術の開発 【生産】 ・工場での日常改善 ・設備の高効率化(LED照明化、クーティリティ・空調の更新など) ・革新工程の開発・導入 ・エネルギー置換	▶ 車両の燃費性能向上に繋がる製品の軽量化 ・燃料電池バス用大型ルーフの樹脂化 ▶ 生産時のエネルギーのロス・ムダ削減や高効率化によるCO₂排出量の低減 ・ボイラー燃料の重油、加熱炉燃料の液化石油ガス(LPG)をLNGへ転換 ▶ 再生可能エネルギーの活用 ・尾西工場に太陽光発電システムを設置 ・いなべ工場に風力発電システム、地中熱空調システムなどを設置																													
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>2020年度目標</th> <th colspan="2">2017年度実績</th> <th>評価^[2]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>グローバル連結</td> <td>'12年度比12%減</td> <td>90^[1]</td> <td>'12年度比10%減</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">国内連結</td> <td rowspan="2">売上高当りCO₂排出量</td> <td>'12年度比15%減</td> <td>77^[1]</td> <td>'12年度比23%減</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>'12年度比17%減</td> <td>94^[1]</td> <td>'12年度比 6%減</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>豊田合成(株)</td> <td>CO₂排出量</td> <td>'12年度比17%減</td> <td>13.5万t-CO₂</td> <td>'12年度比13%減</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>	項目	2020年度目標	2017年度実績		評価 ^[2]	グローバル連結	'12年度比12%減	90 ^[1]	'12年度比10%減	○	国内連結	売上高当りCO ₂ 排出量	'12年度比15%減	77 ^[1]	'12年度比23%減	○	'12年度比17%減	94 ^[1]	'12年度比 6%減	○	豊田合成(株)	CO ₂ 排出量	'12年度比17%減	13.5万t-CO ₂	'12年度比13%減	○			
	項目	2020年度目標	2017年度実績		評価 ^[2]																										
	グローバル連結	'12年度比12%減	90 ^[1]	'12年度比10%減	○																										
国内連結	売上高当りCO ₂ 排出量	'12年度比15%減	77 ^[1]	'12年度比23%減	○																										
		'12年度比17%減	94 ^[1]	'12年度比 6%減	○																										
豊田合成(株)	CO ₂ 排出量	'12年度比17%減	13.5万t-CO ₂	'12年度比13%減	○																										
【物流】 ・輸送効率の向上によるCO ₂ 排出量の低減	▶ 輸送ロスの低減によるCO₂排出量の低減																														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>2020年度目標</th> <th colspan="2">2017年度実績</th> <th>評価^[2]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>豊田合成(株)</td> <td>売上高当り物流CO₂排出量</td> <td>'12年度比 8%減</td> <td>95^[1]</td> <td>'12年度比 5%減</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>	項目	2020年度目標	2017年度実績		評価 ^[2]	豊田合成(株)	売上高当り物流CO ₂ 排出量	'12年度比 8%減	95 ^[1]	'12年度比 5%減	○																			
項目	2020年度目標	2017年度実績		評価 ^[2]																											
豊田合成(株)	売上高当り物流CO ₂ 排出量	'12年度比 8%減	95 ^[1]	'12年度比 5%減	○																										
循環型社会の構築	② 温室効果ガス(6ガス)*1排出量の低減 ・マグネシウム、LED 製造用ガスの代替の推進など	▶ 温室効果ガス(6ガス)の低減																													
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>2020年度目標</th> <th colspan="2">2017年度実績</th> <th>評価^[2]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>豊田合成(株)</td> <td>6ガス排出量</td> <td>'12年度比62%減</td> <td>0.2万t-CO₂</td> <td>'12年度比 81%減</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>	項目	2020年度目標	2017年度実績		評価 ^[2]	豊田合成(株)	6ガス排出量	'12年度比62%減	0.2万t-CO ₂	'12年度比 81%減	○																		
	項目	2020年度目標	2017年度実績		評価 ^[2]																										
豊田合成(株)	6ガス排出量	'12年度比62%減	0.2万t-CO ₂	'12年度比 81%減	○																										
③ 環境に優しいLEDメーカーとしての貢献 ・LED 応用製品の開発と市場への投入	▶ LED応用製品の開発と普及 ・LED照明付きエアコンレジスターの開発																														
循環型社会の構築	④ 廃棄物の低減 【製品】 ・資源の有効活用に向けた、リサイクルし易い製品設計と技術開発 ・軽量化による原材料の低減 【生産】 ・歩留り向上による発生源対策 ・ゴム、樹脂、金属など社内リサイクルの推進 ・廃棄物の資源化推進 ・国内：埋立廃棄物ゼロ化の継続(海外：埋立廃棄物低減活動推進)	▶ 製品のリサイクル技術の開発 ・エアバッグパッドの易解体設計による廃棄物低減 ▶ 生産時の排出物(廃棄物)の低減 ・本革廃材を活用したノベルティの商品化																													
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>2020年度目標</th> <th colspan="2">2017年度実績</th> <th>評価^[2]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国内連結</td> <td>'12年度比10%減</td> <td>81^[1]</td> <td>'12年度比19%減</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">豊田合成(株)</td> <td rowspan="2">売上高当り廃棄物量</td> <td>'12年度比12%減</td> <td>97^[1]</td> <td>'12年度比 3%増</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>'13年度比 6%減</td> <td>47^[1]</td> <td>'13年度比53%減</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>海外関係会社</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	2020年度目標	2017年度実績		評価 ^[2]	国内連結	'12年度比10%減	81 ^[1]	'12年度比19%減	○	豊田合成(株)	売上高当り廃棄物量	'12年度比12%減	97 ^[1]	'12年度比 3%増	○	'13年度比 6%減	47 ^[1]	'13年度比53%減	○	海外関係会社								
	項目	2020年度目標	2017年度実績		評価 ^[2]																										
	国内連結	'12年度比10%減	81 ^[1]	'12年度比19%減	○																										
豊田合成(株)	売上高当り廃棄物量	'12年度比12%減	97 ^[1]	'12年度比 3%増	○																										
		'13年度比 6%減	47 ^[1]	'13年度比53%減	○																										
海外関係会社																															
【物流】 ・梱包、包装仕様見直しなどによる梱包材の低減	▶ 物流時の梱包材の低減																														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>2020年度目標</th> <th colspan="2">2017年度実績</th> <th>評価^[2]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>豊田合成(株)</td> <td>売上高当り梱包材使用量</td> <td>'12年度比 8%減</td> <td>103^[1]</td> <td>'12年度比 3%増</td> <td>×*2</td> </tr> </tbody> </table>	項目	2020年度目標	2017年度実績		評価 ^[2]	豊田合成(株)	売上高当り梱包材使用量	'12年度比 8%減	103 ^[1]	'12年度比 3%増	×*2																			
項目	2020年度目標	2017年度実績		評価 ^[2]																											
豊田合成(株)	売上高当り梱包材使用量	'12年度比 8%減	103 ^[1]	'12年度比 3%増	×*2																										

※1 ハイドロフルオロカーボン(HFC)、パーフルオロカーボン(PFC)、六フッ化硫黄(SF₆)、メタン(CH₄)、亜酸化窒素(N₂O)、三フッ化窒素(NF₃)
 ※2 2020年度目標達成に向け毎年、年度目標を独自設定し低減活動に取り組んでいますが、2016年発生の熊本地震、2017年の九州北部豪雨による補給部品の出荷増や部品の大型化により、梱包材の使用量が増加しました。
 [1] 基準年の数値を100とした場合の数値 [2] ○：年度目標達成、×：年度目標未達成

テーマ	実施事項	2017年度の活動結果																												
循環型社会の構築	⑤ 水使用量の低減と有効活用 ・使用量の見える化によるロスの排除 ・排水の再利用などリサイクルによる使用量低減	▶ 水使用量の低減 ・食堂洗いの水使用量低減 ・雨水利用による水使用量低減																												
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>2020年度目標</th> <th colspan="2">2017年度実績</th> <th>評価^[2]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国内連結</td> <td></td> <td>74^[1]</td> <td>'12年度比26%減</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">豊田合成(株)</td> <td rowspan="2">売上高当り水使用量</td> <td>'12年度比 8%減</td> <td>88^[1]</td> <td>'12年度比12%減</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td></td> <td>73^[1]</td> <td>'12年度比27%減</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>海外関係会社</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	2020年度目標	2017年度実績		評価 ^[2]	国内連結		74 ^[1]	'12年度比26%減	○	豊田合成(株)	売上高当り水使用量	'12年度比 8%減	88 ^[1]	'12年度比12%減	○		73 ^[1]	'12年度比27%減	○	海外関係会社							
	項目	2020年度目標	2017年度実績		評価 ^[2]																									
国内連結		74 ^[1]	'12年度比26%減	○																										
豊田合成(株)	売上高当り水使用量	'12年度比 8%減	88 ^[1]	'12年度比12%減	○																									
			73 ^[1]	'12年度比27%減	○																									
海外関係会社																														
環境保全と自然共生社会の構築	⑥ 環境負荷物質の管理・低減 ・グローバル管理の推進など	▶ 製品含有化学物質の管理の強化																												
	⑦ VOC^{※3}低減 ・塗料、洗浄シンナー代替化 ・新工法や工法見直しによる使用量の適正化と使用量低減	▶ 生産工程におけるVOCの低減																												
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>2020年度目標</th> <th colspan="2">2017年度実績</th> <th>評価^[2]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国内連結</td> <td></td> <td>74^[1]</td> <td>'12年度比26%減</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">豊田合成(株)</td> <td rowspan="2">売上高当りVOC排出量</td> <td>'12年度比 6%減</td> <td>91^[1]</td> <td>'12年度比 9%減</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>	項目	2020年度目標	2017年度実績		評価 ^[2]	国内連結		74 ^[1]	'12年度比26%減	○	豊田合成(株)	売上高当りVOC排出量	'12年度比 6%減	91 ^[1]	'12年度比 9%減	○												
	項目	2020年度目標	2017年度実績		評価 ^[2]																									
	国内連結		74 ^[1]	'12年度比26%減	○																									
	豊田合成(株)	売上高当りVOC排出量	'12年度比 6%減	91 ^[1]	'12年度比 9%減	○																								
			⑧ 排ガス低減 ・低排出ガス車の導入	▶ NOx、SOxを抑えた車両を随時導入																										
	⑨ 地域とつなぐ自然共生活動の推進 ・オールトヨタ、行政、NPOと連携した活動 ・豊田合成グループの生物育成域の拡大(森づくり、ビオトープなど)	▶ 藤前干潟の清掃(愛知)、千年希望の丘植樹活動(宮城)、オオキンケイギク駆除活動(愛知)、伊豆沼・内沼の生態系保護活動(宮城) ▶ 「工場の森づくり」を世界の各拠点で実施 ▶ 平和町工場の調整池を活用したビオトープ化																												
	⑩ 地域への環境貢献 ・エコ先端工場などでの環境活動を通じた地域社会への貢献(近隣住民、児童などへの教育)	▶ 住みよい地域社会づくりに貢献																												
	⑪ 社会貢献活動の推進と関連事業への支援 ・グローバル一斉清掃などによる地域美化活動 ・関連事業への支援(トヨタ白川郷自然学校、生物多様性民間参画パートナーシップ)	▶ 住みよい地域社会づくりに貢献																												
⑫ 環境政策への貢献 ・外郭団体などの環境政策への貢献と低減(自動車部品工業会、ゴム工業会など)	▶ 日本自動車部品工業会、日本ゴム工業会などの環境政策に参画																													
⑬ 連結環境マネジメントの強化、推進 ・グローバル連結環境マネジメント活動の充実 ・順法管理の強化 ・環境負荷低減活動の推進	▶ 環境活動 ▶ 海外関係会社の環境管理体制の整備 ▶ 環境監査 ▶ 順法 / 環境「異常・苦情ゼロ」活動で管理を強化 ▶ PCB含有機器の適正処分と保管 ▶ 土壌・地下水の保全																													
⑭ ビジネスパートナーとの連携した環境活動の推進 ・材料・製品など仕入先と連携した活動の一層の充実 ・当社へ納入される部品、原材料、生産設備などに含まれる環境負荷物質の管理充実 ・仕入先における環境関連法令などの順守及び自主的な環境パフォーマンス向上活動の要請	▶ グリーン調達の推進																													
⑮ グローバル社員教育・啓発活動の一層の強化 ・従業員の環境意識向上活動の推進 ・体系的な環境教育の実施 ・環境月間活動のグローバル展開 ・社内報などの活用による情報提供と啓発	▶ 環境教育 ▶ 環境啓発 ・意識調査 ・環境シンボルマークをリニューアル ・環境貢献表彰 ・TGフェスティバルに環境ブース出展 ・環境講演会 ・グリーンカーテン ・環境月間(環境展示会、エコツアー、エコ川柳など)																													
⑯ 環境情報の積極的な開示とコミュニケーション活動の充実 ・製品環境技術情報提供の充実 ・豊田合成レポートの発行継続とさらなる内容充実(1回/年) ・環境コミュニケーション活動の充実 ・評価機関への可能な限りの情報開示	▶ 「豊田合成レポート 2017」の発行																													

※3 揮発性有機化合物(Volatile Organic Compounds)

CO₂排出量については第三者検証を受審しています。